

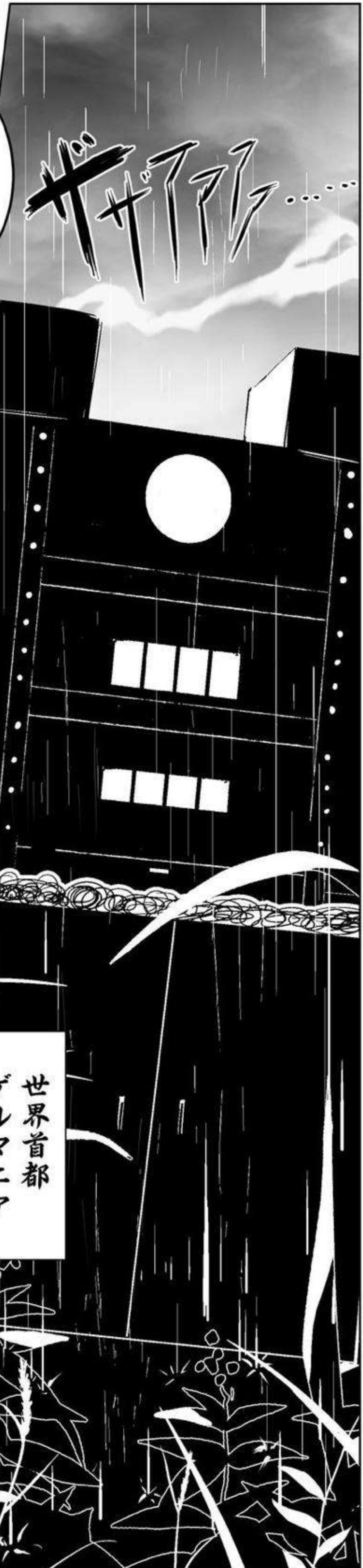
# THE LOST FLEET





調査に協力しないと、今夜はただではすまんぞ

少佐閣下、あなたは何を見たのか正直に言ってください



ザザアア...



もう全部教えたわ、あなたたちが信じないだけ...




君の話は我々帝国海軍に大きな混乱を招きかねない事をご存知ですか？

ごまかさない方が身のためだ、少佐。正直に言うんだ！


世界首都  
ゲルマニア  
親衛隊本部




やはりこうなるか... まあ、あんな事誰も信じないだろうな。だが、本当に事実なんだ！



全ては5年前に始まった…。  
帝国海軍が東アジアの同盟  
国を訪ねたとき、急に空母  
G・Zが暴走し、かつて「  
東京」と名付けられた街を  
焼き払った。



両方がKANISEN  
を出して戦った。間  
もなく海や大陸が戦  
争の火に焼かれ、人  
間のコントロールで  
きる範囲を超えた。



あの事件で世界  
は再び恐怖に陥  
った。5年前の  
戦争以来、あんな  
大規模な衝突  
は一度も発生し  
なかった。



私は筆者の資料を当地の治安警察に渡した。その裏切り者が捕まったら、ビールで乾杯すると決めていた。



そして、私はかつてアメリカと呼ばれた新大陸の西岸にたどり着く。



そして妙な小説を見つけた。そこには我々は9年前の戦争に負け、元首閣下は自害したことが述べられていた。

この苦しい時代に、私は禁書取締の仕事に任された。



なんて大きい

地震!?

この後、災難が起きた



惨めな呻き声：  
弱き者の運命。  
弱さゆえに滅さ  
れる、それだけ。

ふふふ…目障りな  
モノが沢山…。  
まずは「ソウジ」  
しないと！

敵のKAN-  
SENだ！

ゴッ!

逃げるぞ

アア



あらあら…殻があっても小虫に過ぎないわね？  
こいつから「ソウジ」しようかしら

ズ

ピツッ

尻尾が汚れてしまったわ…ふふふ、小虫さん達に責任を取ってもらわなきゃ

グジャ

姉さま、こんなモノの掃除に手は必要ありませんよ。

オン！！

重桜の空母がここに  
現れるなんて…国防  
はどうなっている！

うわあああつー！

あいつらの身長は  
数百メートル…。  
町のどこにいても  
踏み潰される…！

きゃアア！

生き延びたけ  
ればここから  
出るしか無い

害虫の「ソウジ」  
なら、こっちの方が  
効率が良いわね！

ズオオオオ！

大丈夫だ！避難所  
にいる限り俺たち  
は安全だ！

あらあら、虫の巣を  
踏んじやったみたい。  
赤城、反省します♥

助けて

アア

ズズウウー！！

虫さんたち、私の愛を受け止める準備はできたかしら？

お母さん

助けて！

死の宴だ…  
覚悟！

だめだ！

キヤ

ズズズズ





弱き者は淘汰されるのが運命、悔しかったら強くなることだ！

そんな遅い物に乗ってどこへ行くつもり？

誰か助けてえええ！

うわあ！

ズインズイン

あはは！ 終点よ！  
ここは命の終点！

どうしたの？

光栄です、  
姉さま♥

暴れるコムシは加賀にお仕置きさせましょうか

ふふ…みんな  
姉さまの足に  
登った。

あはっ！  
痒いわけね

あは！なにか聞こ  
えたわ。コムシを  
食べてそんなに興  
奮した？

そんなに見つ  
められたら食べ  
たくなっちゃう

じゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

もう、姉さまっ  
たらあ…



ふう…ようやく  
会えたわね、重桜  
からの使者！

！

ふふ…指揮官様も混  
ざりたい？姉妹を呼  
んで民衆に見せつけ  
てもいいのよ？

下等生物め！数十万人  
の前でそんな破廉恥な  
ことを！

町でこんな事するなん  
て…消えてもらえん？  
目障りなだけど…

やっち  
まえ！

あれはわが  
軍のSEKAN  
だ！

はあ？やら  
れるのは…

お前達だ！  
このうじ  
虫共め！

うわ

あ





泣き叫べ！  
恐れおののけ！  
この私に跪け！  
アハハハ！



下僕の分際によく  
できたじゃないか！

楽しみな！この高貴  
たる足の指の隙間こそ、  
お前達のような下等生物  
のいるべきところだ！



悪いがここは  
通さない!

高速戦艦  
霧島、推し  
て参る!

弱い…この刃を  
振るう必要もあ  
るまい。

助けて

はやく  
逃げろ  
おれ

多くの重桜所属の  
KANISENが  
街を破壊し始めた。  
私は混乱の渦中、  
道に迷う――

おや?何か  
見つけたぞ

プリンツ…  
オイゲン?

少佐閣下、  
お助けを!

ドム!

やめて

あ

私が任命した警察が彼女  
の手に握られている。  
ふと、嫌な予感がした





ふん、ぎりぎり合格ね。  
反省なら今回はいいぞ。

もたもたして…。  
重桜の馬鹿どもめ！

ああっ、  
本当にケモミミと  
尻尾が生えてる！  
触っていい？



ご機嫌よう鉄血の  
みなさん。ようやく  
会えたのね

うふふ…本当に長い航海  
ですわ。よくも太平洋で  
沢山爆弾を投げてくれ  
ましたね



まあ、指揮官様に注意され  
なかつたら、もうとっくに  
あなた達もブツ殺してたわ

見た目からし  
て弱い感じね。  
うふふ

うわっ…  
こわいこわい！  
重桜ってこういう  
連中ばかり？

ふん…それは  
もういい。

まずは寝てもいい



目覚めると見慣れない部屋にいた。さっきのは夢だったのか？

男が外のベランダに座り、何かを見ているようだった

彼の顔が気になる。歴史上の有名人種のような顔だった。それも博物館でしか見れない類の

私はベランダに行き、あれを見た

『タイタン』のような姿をしていた…いや、その何倍も超える大きさだ。きっと人類には理解不能な力で造られたんだ。世界までやつらの足元で震えるほどの…





ちんっ…  
ちゅっ

あら、  
いいわよ

指揮官からもらった  
時間…、姉さまとゆっ  
くり過ごしたいです…！

姉さま、私見てまし  
た。害虫がいっぱい  
上がってきます

本当に邪魔だわ。  
あいつらに自分の立  
場を分からせないと

そういえば、  
さっきから足が  
痒いんだけど…

あー！

あー！

あー！



うふふ… 私たちの  
柔らかい飛行甲板に  
着陸したいの？

今度はお尻が痒く…  
本当にエッチな  
ハエですね

ポン!

ポン!

ポン!

ヒュウウウ



あつ…! 着陸失敗ね。  
バカなコムシ達

ドン!!

ゴォン!

ううんっ…。痒く  
てたまらないわ。  
股間が…熱くな  
るう…っ!



最後までもがいて、私達を喜ばせなさい！  
うふ…ふふふふっ！

ゴゴゴ



頭をふっ飛ばされ  
たくなかったら、  
やつらに命令して  
止めさせろ！



君が指揮官  
か…！



世界が崩壊していく。  
もちろんその原因を  
私は知っている



気持ち悪い虫どもめ、  
指揮官様に何をしよう  
としている？黙ってみろ！

あああ

ゴゴゴ



姉さまの乳首は  
虫の街よりも大  
きいですね！

小さすぎね…  
私の乳腺に入るか  
どうか試したいわ



ふふ…適当に指で  
突いたら、コムシ  
がこんなにも…

ゴゴゴ…



イイアアア…

あああ



姉さまのミルク  
に溺れてみんな  
死にましたね…

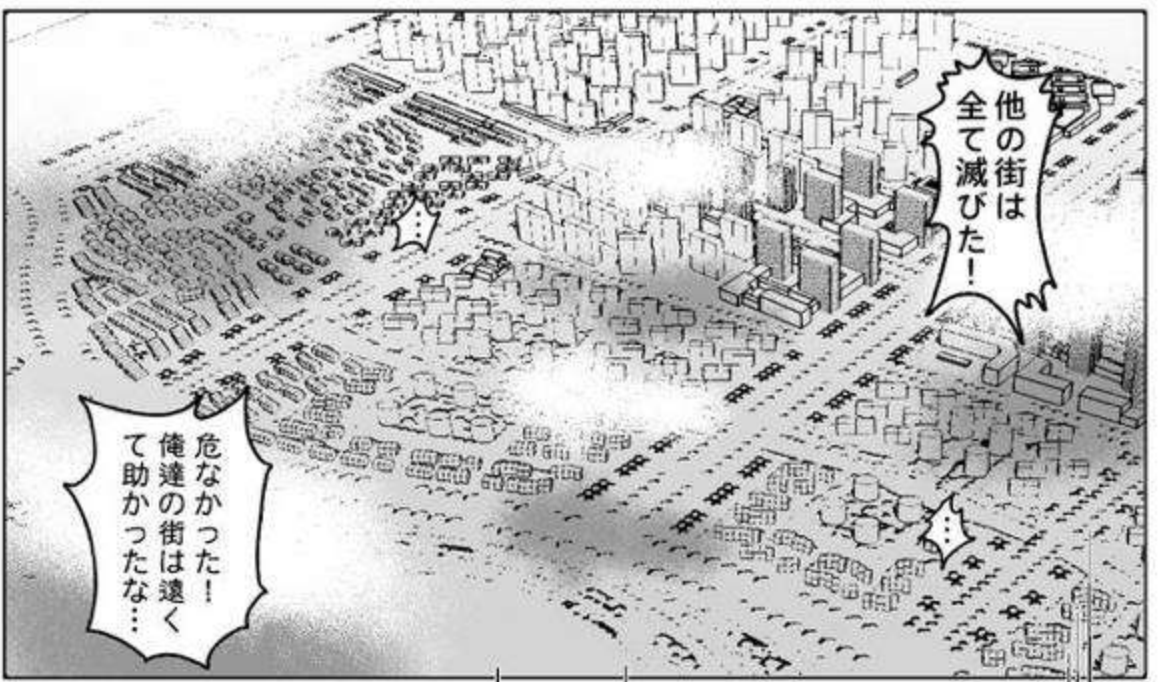
ぷち

ぷち

ああもったいない…  
舐めてきれいに  
しましょう！



も、もう我慢でき  
ないっ！とりあえ  
ず何か探して姉さ  
まに…



他の街は  
全て滅びた！

危なかった！  
俺達の街は遠く  
で助かったな…



キャッ！何か…入っ  
てくる！もう、術式を  
使うのは反則よ！

助けて  
ええ！！

ジーン

な…なんだ

ササアアア



巨大なピンク色の壁が迫ってくるぞー！

ズオオオ

わああ  
ああ！

ゴゴゴ

はあ…はあ…  
姉さまっ、いかが  
ですかっ…！

あああ…！！  
加賀にも…味あわ  
せてあげるっ！

ゴゴゴ…

ゴちゅ

ゴちゅ♡

バジッ！

キヤアアア

いやあ

バジッ！

やっ！姉さま  
強すぎて…っ！  
加賀の格納庫が  
壊れちゃいます…  
っ！

指揮官様〜！  
うふふふ…うふふふ…  
うふふふ…！

ドッ

ズン…

ズン…

481

481





…しがし、あの男の憎しみに満ちた冷たい目を見た瞬間、私は震えた。



ここから逃げなければ…！全て上に伝えないと…



ヒュウウウー

くそ！はやく脱出するんだ！



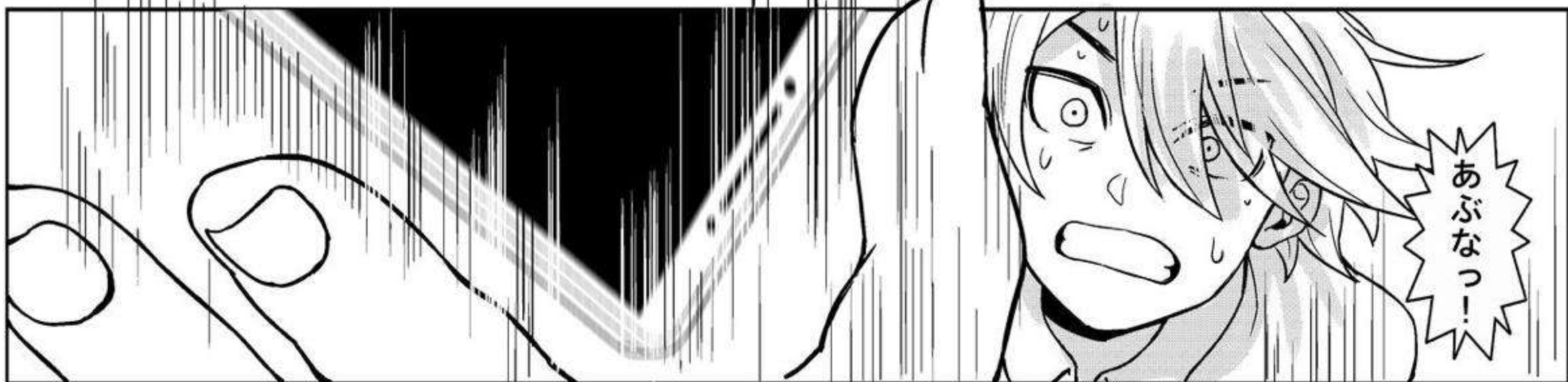
あの巨乳… グラーフ・ツェッペリンか!?



やめろおおー



クウウウウ!!





最後に、  
全てのKANISENが  
霧に包まれ、  
太平洋の奥へと消え去った。  
あの男もな…。

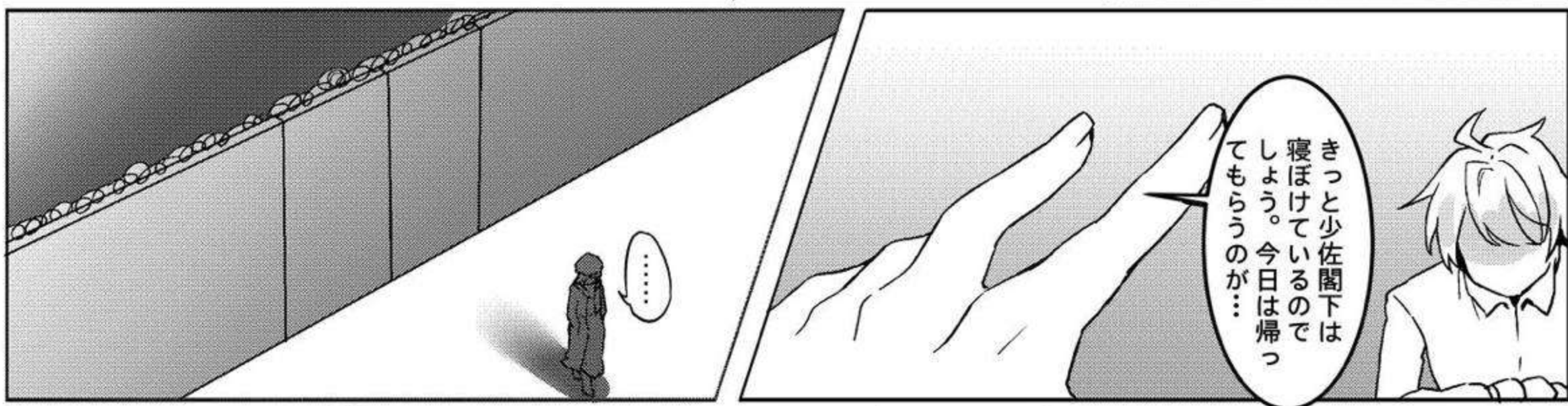


少佐閣下、まだそんなくだらない嘘を続けるのなら、申し訳無いが私はこれ以上あなたを助けられません。

だから、俺らにそんなバカな話を信じろって？



後のことは全く覚えていないが、私の言ったことは全部事実だ



きっと少佐閣下は寝ぼけているのでしよう。今日は帰ってもらおうが…



さっきからずっと私の後をつけてるな。いったい何の真似だ？





カチヤツ…  
俺達を恨むなよ。  
上がお前に死んでほしいぞうだ!

それは帝国海軍は全ての  
ことを知った上で、隠そうと  
しているということか? 国は  
もうここまで腐っていたか…

ただ命令に従って  
動いてるだけだ。  
むっ…何の音だ!?

ぎやああ  
あああ!



うふふ…私たちに助  
けられた事を言わなかつ  
たわね。なぜあいつらに  
我々セイレーンのことを  
教えないの?



…あのタイムスリップした人の言った通り、この世界は間違っている。崩壊するのは必然の結末…

ドドドド!

だが、俺は弱者と一緒に腐ってたまるか!

うふふふ…  
決意したのね。  
さあ、あなたの願望を言いなさい!

この不条理な世界は滅びるべきだ!

ド!

俺は最後の勝利者になる! ヴァルキリーよ、俺に勝利の女神の微笑みを見せる!